

(様式2) 平成 22 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572409464	
法人名	有限会社 グループホーム・つばき苑	
事業所名	グループホームつばき苑	
所在地	秋田市雄和椿川字小鹿野戸39-2	
自己評価作成日	平成22年7月1日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会	
所在地	秋田市旭北栄町1-5	
訪問調査日	平成22年8月18日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ゆっくり」「じっくり」「しっかり」入居者様と向き合うことに力を入れています。また、入居者様の意向を踏まえ外出の機会を多く取り入れ、ホーム内に閉じ込めさせないよう、職員が行動的に創造的に動くよう努めています。更には、言葉遣いには十分に配慮し、優しく穏やかであることを目指しています。衛生面では、感染症を予防するため共用部分の消毒の徹底と、ホーム内に立ち入る全ての方々に年中手洗いとうがいを励行して頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の中に自然に溶け込んで行けるようにと、地元の椿川から「つばき苑」と命名し6年が経過し、地域との関係は良好で、認知症サポーター養成講座を開催するなど、地域への還元にも努めている。
 法人代表者は開設当初より利用者向き合い、その人らしい生活をするを念頭に、質の向上に努めており、行事後の家族会の開催についても支援している。
 また、1日3回トイレと洗面台の消毒を徹底し、手洗い・うがいの励行を職員、家族、来訪者皆で通年実施するなど、感染予防に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	1ユニット(ユニット・1)	2ユニット(ユニット・2)
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
		1ユニット(ユニット・1)		2ユニット(ユニット・2)	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念として「つばき苑介護のこころ」を掲げています。ユニット会議では職員全員で唱和してから会議に臨むようにしています。介護のこころを基本に会議をおこない、実践に活かせるよう話し合い、意見交換をしています。また、日々の業務の中でも管理者や職員同士が日々の対応を話し合うようにしています。	代表者は、地域の中での事業所のあり方を模索したうえで、優しさや個人の尊厳を大切にする「つばき苑介護のこころ」という理念を作り上げている。 理念は玄関や事務室に掲示して管理者・職員間で共有し、会議の中で確認したり唱和したりしながら、日々の介護に生かしている。		
			「つばき苑介護のこころ」と銘打った理念を掲げています。この理念を実現するために、各ユニット会議や全体会議のなかで、常に入居者様が主体の介護のあり方について意見交換や情報交換をしています。また、日々の関わりの中でも職員同士や管理者と職員が話し合うようにしています。			
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会や敬老会等に参加したり、ホームは奉仕活動として町内のゴミ拾いをさせて頂いています。冬はの青年会の「なまはげ」の来訪があり、近隣の方と気軽に会話しています。近隣の方のさりげない優しさで、ホームの前の荒地や道路沿いに花が植えあります。8月の竿灯来訪にお誘いして一緒に楽しんで頂いています。	町内会に加入し、清掃活動を利用者とともにいたり、地域の運動会や敬老会に参加している。 また、今年度は地域の小学6年生向けに、卒業前に認知症への理解を深めるための講話を企画したりと、積極的に地域との交流に取り組んでいる。		
			地域からの行事のお誘いには積極的に参加させて頂いています。参加すると、地域の方々が積極的に声をかけて下さり手を貸して下さいます。また、受身でいてばかりではいけないので、二ヶ月に一度奉仕活動として町内のゴミ拾いをさせて頂いています。また、災害時の避難の協力についても計画を進行中です。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地元の民生委員からの要請で、認知症サポーター講座を開催し、認知症の方への理解の普及に努めています。			
			地元の民生委員からの要請で、認知症サポーター講座を開催し、認知症の方への理解の普及に努めています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、ホームの入居者様の状況やスタッフ、事業所の活動について包み隠さず報告をしています。回を重ねるごとに顔なじみになってきて、会議の後半にはざっくばらんに雑談形式で会話が繰り広げられています。地域の方のボランティアの話題も出てきますので、進めていきたいと考えています。	年6回定期的に開催し、運営状況や外部評価結果を報告している。 また、事業所からの日々の気付きによる提案に対する意見をもらって職員会議で話し合い、理念のほかに『ゆっくり・じっくり・しっかり』という合言葉を決めたり、避難訓練への参加を町内会に依頼することにしたりと、サービスの向上に繋げている。		
			毎回、ホームの入居者様の状況やスタッフ、事業所の活動について包み隠さず報告をしています。回を重ねるごとに顔なじみになってきて、会議の後半にはざっくばらんに雑談形式で会話が繰り広げられています。地域の方のボランティアの話題も出てきますので、進めていきたいと考えています。			
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の運営に関する相談は施設長が。認知症サポーター養成講座については管理者が担当者と連絡を取り合い、一方通行にならない関係が築けていると思われます。市の職員の方も親身になって対応して下さるので、ありがたいです。	行政担当課と連絡調整し、管理者が講師となって地域の認知症サポーター養成講座を開催しており、今後も継続していく予定である。		
			事業所の運営に関する相談は施設長が。認知症サポーター養成講座については管理者が担当者と連絡を取り合い、一方通行にならない関係が築けていると思われます。市の職員の方も親身になって対応して下さるので、ありがたいです。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束その他行動制止廃止マニュアルがあり、それにもとづいて行動しています。また、日中の玄関は常に開錠していて、自由に外へ出られるようにしています。玄関にセンサーを設置していますので、センサーの反応に合わせ、介護職と事務職が協力してさりげなく見守りなどの行動をしています。	代表者をはじめ、全職員が拘束をしないケアについて理解しており、日中は玄関に施錠せず、自由に外出できる反面、危険を未然に防ぐよう、介護職員と事務職員が連携して見守りに力を入れている。		
		身体拘束その他行動制止廃止マニュアルがあり、それにもとづいて行動しています。また、日中の玄関は常に開錠していて、自由に外へ出られるようにしています。玄関にセンサーを設置していますので、センサーの反応に合わせ、介護職と事務職が協力してさりげなく見守りなどの行動をしています。				
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の早期発見に努めるため、毎月「虐待チェック」を全職員が行い、虐待の有無(疑い)を確認しています。今年度、虐待防止の研修に申し込みをしましたが定員を超えたため、辞退の依頼があり現在では受講できていません。主催者側は今年度中にGH向けに虐待の研修を企画するとのことでしたので、参加する予定です。			
		虐待の早期発見に努めるため、毎月「虐待チェック」を全職員が行い、虐待の有無(疑い)を確認しています。今年度、虐待防止の研修に申し込みをしましたが定員を超えたため、辞退の依頼があり現在では受講できていません。主催者側は今年度中にGH向けに虐待の研修を企画するとのことでしたので、参加する予定です。				

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は他事業所や公的機関などから情報を得る機会があり、それを職員会議で報告をしています。一般職員は勉強する機会が少ないので、研修がある場合は参加をしたいと考えています。			
			管理者は他事業所や公的機関などから情報を得る機会があり、それを職員会議で報告をしています。一般職員は勉強する機会が少ないので、研修がある場合は参加をしたいと考えています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約および契約の終了については、十分に説明するようにしています。その都度質問や疑問にもお答えするようにし、曖昧なままにはしないようにしています。			
			契約および契約の終了については、十分に説明するようにしています。その都度質問や疑問にもお答えするようにし、曖昧なままにはしないようにしています。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様やご家族が気軽に会話ができるよう、職員自身の雰囲気配慮するようしたり、ただお茶を出して終わりではなく、話しかけ易い職員になれるよう、積極的に言葉をかけるようにしています。	家族の面会が多いため、その都度職員から声をかけ、意見や要望を聞き取るよう努めており、家族の方から電話連絡をくれることもある。		
			入居者様やご家族が気軽に会話ができるよう、職員自身の雰囲気配慮するようしたり、ただお茶を出して終わりではなく、話しかけ易い職員になれるよう、積極的に言葉をかけるようにしています。	また、意見や要望は管理者が記録し、職員会議で閉じこもり防止のための適度な外出支援方法を話し合うなど、具体的に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務中に意見や思いを聞き取るようにしています。悩みなどに関しては親身に受け取り、改善されるよう努めています。また、ユニット会議や全体会議の場でも広く意見を求め、改善の有無を見極めた上で反映させるようにしています。	日々の業務中に意見や思いを聞き取るようにしています。悩みなどに関しては親身に受け取り、改善されるよう努めています。また、ユニット会議や全体会議の場でも広く意見を求め、改善の有無を見極めた上で反映させるようにしています。	ユニット毎の会議と全体会議を毎月開催し、代表者と管理者は職員の意見をもとに話し合い、必要に応じ実践している。 また、採用後3～5年の中堅職員が多いため、中堅職員を集めて話し合いの場を持ち、業務改善や新人指導について意見交換したり、悩みを聞いて運営に生かしている。	代表者は職員のレベルに合った研修を受講できるよう配慮しているが、各職員の受講状況を把握し、段階的にスキルアップできるよう、年間研修計画の策定が望まれる。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	給与に関しては、処遇改善手当の早期申請を行い、手当が開始とともに支給できるようにしています。やりがいや向上心を今以上に持って働けるよう、定期的に面談を行い個々の思いや考えを把握し、職場環境の整備に努めています。	給与に関しては、処遇改善手当の早期申請を行い、手当が開始とともに支給できるようにしています。やりがいや向上心を今以上に持って働けるよう、定期的に面談を行い個々の思いや考えを把握し、職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場内での勉強会の実施や外部の研修会への参加を積極的におこなっています。また、働きながら先輩は後輩に認知症ケアについての基本や関わり方の実際を指導しています。	管理者はリーダーを、リーダーは一般職員を、中堅職員は新人職員を職場内で指導できるよう、会議や日々の業務の中で話をするようにしています。職場内での勉強会もおこなっていますが、研修にも案内があれば積極的に参加するようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は秋田市認知症GH連絡会の会長、秋田県認知症GH連絡協議会の副会長をしており、同業者間が交流したり、質の向上のための研修の企画等の取り組みに協力しています。	/	/
		代表者は秋田市認知症GH連絡会の会長、秋田県認知症GH連絡協議会の副会長をしており、同業者間が交流したり、質の向上のための研修の企画等の取り組みに協力しています。			
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は、特にご本人が困っていることに耳を傾け、改善されるよう関わるようになっています。	/	/
			入居間もないときには、優しく積極的に関わるようになっています。不安にならないよう、ご本人の話を聞くようになっています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の初めは特に色々と心配されていると考え、ケース記録の閲覧をお勧めしています。その他にも積極的に声をかけさせて頂くようになっています。	/	/
			入居者様だけでなく、ご家族にも積極的に声をかけるようにし、初めのコミュニケーションづくりを大切にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする		/	/

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<p>職員の一方的な関わりを禁止しています。「ゆっくり」「じっくり」「しっかり」関わることで、そこからご本人が何を求めているのかを見極めるように努めています。私たちは「介護してやっている」立場では決してないことを念頭に、関係を深め安心して生活して頂けるように努めています。</p> <p>一緒に調理をし、食事を摂り、最後はみんなで後片付けをするようにしています。いまでは、食後の後片付けは、入居者の皆様が中心となっています。</p>	/	/
19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<p>ご家族の面会の際には、ご本人も交えながら日々の生活の様子などをお話させて頂いています。その中からケアのヒントを頂いて実行することも多々あります。</p> <p>一緒に調理をし、食事を摂り、最後はみんなで後片付けをするようにしています。いまでは、食後の後片付けは、入居者の皆様が中心となっています。</p>			
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<p>個別の外出などの際には、ご本人の自宅へ行ってみたり、以前生活していた場所などに出かけたりしています。また、面会や外出等も自由にゆっくり過ごして頂けるように言葉をかけるようにしています。</p> <p>特に普段面会にこられないような方の面会の場合は、ゆっくり過ごして頂けるよう不用意に声をかけないようにしています。また、外出・外泊等も申告の上、自由にして頂いています。また、ご家族と今以上に情報交換できるように努めています。</p>	<p>利用者が以前生活していた家まで職員とともに出かけたり、家族と墓参りに行けるよう配慮するなど、これまでの関係を大切に支援している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご自分たちで気が合って会話されている時は、そっと見守らせて頂いています。また、気が合いそうな方達の場合は、きっかけ作りにお互いの居室に案内したりします。食堂でさりげなく歌を歌い、いつの間にか皆様が歌を歌って会話が始まるような雰囲気づくりもしています。		
			気の合う入居者様同士と一緒に過ごせるよう、外出や何かの作業をして頂いています。また、ちょっとした言い争いの場面ではその状況を判断させて頂いて仲裁をしお互いの不快感を取り除くよう、雰囲気の改善に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	管理者が、契約終了後もその先が落ち着くまでご家族の相談に応じ、時には一緒に足を運んでいます。		
			管理者が、契約終了後もその先が落ち着くまでご家族の相談に応じ、時には一緒に足を運んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の寝食のパターンや生活のリズムを尊重できるよう配慮しています。また、個々の趣味や好むことがホームで実行できるようご家族に相談しながら準備をしたりしています。ご自分の意思を表現できない方については、まずはご本人に合わせ寄り添い、そこからご本人の思いを汲み取るよう努めています。	一人ひとりの暮らしのリズムに合わせて生活して頂けるようにしています。時に、行動障害が強く出現した方に職員がかかりきりになってしまうこともあり、他の方への関わりが薄くなっています。現在はそれを職員が認識しており、改善するべく職員同士声を掛け合いまんべんなく皆様と関わり、希望を把握するよう努めています。	利用開始前に、本人および家族の希望や意向を確認しており、利用開始後も、センター方式のアセスメント様式を用いたり、担当職員を決めて関わるなど、本人の思いをくみとるよう努め、趣味活動の継続も支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や生活環境、暮らし方の把握に努めています。それをホームの暮らしに反映できるよう努めています。	一人ひとりの生活歴や生活環境、暮らし方の把握に努めています。それをホームの暮らしに反映できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のケース記録、バイタルチェック、口頭での申し送り、連絡ノート等で日々の生活や心身の状況を把握しています。	毎日のケース記録、バイタルチェック、口頭での申し送り、連絡ノート等で日々の生活や心身の状況を把握しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当者によるアセスメントやカンファレンス、ユニット会議、全体会議等で課題や関わり方について、検討しています。また、ご家族から関わり方のヒントを聞き取れることもあり、それにご本人の意向を加え、介護計画を作成しています。	ケア会議では、家族の意見や医師の指示を踏まえて、利用者の担当職員を中心に現在のケアについて話し合っており、状態変化時にも臨機応変に見直している。 また、介護計画のもとになる日々の記録は、記入漏れがないよう毎月管理者がチェックしている。		
		各担当者によるアセスメントやカンファレンス、ユニット会議、全体会議等で課題や関わり方について、検討しています。また、ご家族から関わり方のヒントを聞き取れることもあり、それにご本人の意向を加え、介護計画を作成しています。				
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録になるべく詳細に記録を残すようにしています。また、連絡ノートを活用し気づきや対応などの情報を共有しています。また、介護計画に対して、毎月評価をし、介護計画の見直しに活用しています。			
		ケース記録になるべく詳細に記録を残すようにしています。また、連絡ノートを活用し気づきや対応などの情報を共有しています。また、介護計画に対して、毎月評価をし、介護計画の見直しに活用しています。				
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする				

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>ご本人の希望の床屋へ送迎しています。理髪師さんは協力的で、普通の人として関わって下さっています。また、普通に外食したり、買い物に出かけたりするようにしています。まずはホームの中に閉じこめていまいないように実行しています。</p> <p>ご本人の希望の美容院へ送迎をしています。美容院利用中は、認知症の状態が重度でない限り職員は付き添わず美容師さんや周りの方とコミュニケーションを図って頂くようにしています。また、外出の希望時には予定が入っていない限り速やかに実行しています。</p>	/	/
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>入居時に、かかりつけ医の確認をさせて頂いています。入居前のかかりつけ医を希望される場合はそのまま継続して頂いています。かかりつけ医がない場合にはホームの協力医療機関を紹介させて頂いています。いずれにせよ、強制はしていません。</p> <p>入居時に、かかりつけ医の確認をさせて頂いています。入居前のかかりつけ医を希望される場合はそのまま継続して頂いています。かかりつけ医がない場合にはホームの協力医療機関を紹介させて頂いています。いずれにせよ、強制はしていません。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度、訪問看護を利用して頂いています。その際に、皆様の心身の状況を報告させて頂き、助言を頂いたり、状況によっては受診をしています。また、訪問看護日以外でも気になることがある時には電話でお互いに情報の交換をしています。訪問看護側は協力的です。			
			週に一度、訪問看護を利用して頂いています。その際に、皆様の心身の状況を報告させて頂き、助言を頂いたり、状況によっては受診をしています。また、訪問看護日以外でも気になることがある時には電話でお互いに情報の交換をしています。訪問看護側は協力的です。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者がご家族や医療機関との連絡調整をしています。入院の際には医療機関に情報提供を速やかに行っています。また、病状を把握し、なるべく早期退院できるよう、ご家族医療機関と情報の交換をしています。			
			管理者がご家族や医療機関との連絡調整をしています。入院の際には医療機関に情報提供を速やかに行っています。また、病状を把握し、なるべく早期退院できるよう、ご家族医療機関と情報の交換をしています。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>重度化や終末期が考えられる入居者様については、早い段階からご家族にこれからの生活の形を具体的に相談させて頂いています。(他施設に入所されたいのか、他医療機関に入院されたいのか、ホームで看取り介護を希望されるのか等)また、看取り介護を行う場合には協力医療機関との連絡体制が整っています。</p> <p>重度化や終末期が考えられる入居者様については、早い段階からご家族にこれからの生活の形を具体的に相談させて頂いています。(他施設に入所されたいのか、他医療機関に入院されたいのか、ホームで看取り介護を希望されるのか等)また、看取り介護を行う場合には協力医療機関との連絡体制が整っています。</p>	<p>看取りのケースはないが、家族からの希望があるため、代表者および全職員が看取り時の職員体制や医療機関との連携について話し合い、受け入れの準備を整えている。</p>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>新入社員は救命講習を受講してもらうようにしています。また、地域の消防署の協力にて勉強会を年二回行うように努めています。更にはAEDを設置しています。AEDは地域の方の緊急時にも活用して頂くために運営推進会議で報告させて頂き、実際のときにはホームの職員が対応するように考えています。</p> <p>新入社員は救命講習を受講してもらうようにしています。また、地域の消防署の協力にて勉強会を年二回行うように努めています。更にはAEDを設置しています。AEDは地域の方の緊急時にも活用して頂くために運営推進会議で報告させて頂き、実際のときにはホームの職員が対応するように考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<p>2～3ヶ月に一度避難訓練を実施しています。また、実際の避難時に地域の方の協力を得られるよう、運営推進会議を通して緊急連絡体制づくりに着手中です。非常食等は3日分備蓄しています。</p> <p>2～3ヶ月に一度避難訓練を実施しています。また、実際の避難時に地域の方の協力を得られるよう、運営推進会議を通して緊急連絡体制づくりに着手中です。非常食等は3日分備蓄しています。</p>	<p>事業所内にスプリンクラー、火災報知機を設置し、非常時の食品も備蓄している。 また、災害を想定した避難訓練を年2回以上実施し、消防からも指導を仰ぎながら、非常時に備えている。</p>	<p>災害時の連絡網や避難方法を整備し、前回課題としていた地域住民への協力依頼もしているが、参加には至っていないため、今後も継続して働きかけてほしい。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>申し送りの際には、皆様に聞こえないように、イニシャルで進行しています。ケース記録にはご本人以外の方の名前はイニシャルで記載させて頂いています。排泄の誘導時などは、他入居様に知れないように言葉かけに注意しています。また、決して一方的であったり、指示するような言葉かけをしないよう、日々徹底しています。</p> <p>申し送りの際には、皆様に聞こえないように、イニシャルで進行しています。ケース記録にはご本人以外の方の名前はイニシャルで記載させて頂いています。排泄の誘導時などは、他入居様に知れないように言葉かけに注意しています。また、決して一方的であったり、指示するような言葉かけをしないよう、日々徹底しています。</p>	<p>代表者および管理者は、利用者の尊厳の重要性について、日常的に職員と話し合い、親しみをこめながらも乱暴に聞こえない言葉遣いを心がけ、一方通行にならないようゆっくりと時間をかけて関わっている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	優しく穏やかに言葉をかけるようにしています。ご本人が話しやすい環境を把握し、居室やソファなどでゆっくり会話をし、ご本人の思いを汲み取れるように努めています。			
			日々の会話の中で、希望や要望を聞き取れるよう努めています。その会話を盛り上げながら、希望や要望を速やかに実現できるように努めています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特に朝は無理に早く起床しないように配慮しています。また、夜間眠れているのであれば、日中の休息もお好きなようにして頂いています。ただし、昼夜逆転のないよう、日中休息ばかりにならないように配慮しています。			
			基本的にはご本人のペースで過ごして頂いています。しかし、入浴や外出等ご本人の希望に添えない時もありますので、なるべく希望に添えるよう配慮するようにしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	起床時には、整容のお手伝いをさせて頂いています。また、外出の際などは洋服を選んで頂いたり、特別な外出の際にはお化粧品のお手伝いもさせていただいています。			
			洋服は、ご本人に馴染みの物をご持参いただいています。また、季節に合った洋服をご自分で選んで頂くようにしています。特別な外出の際にはお化粧品等のお手伝いをさせて頂いています。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<p>ホームでの生活が長い方はそれと同時に年齢を重ね、体力や気力の低下が徐々にみられ始めているため、以前できていた調理、盛り付け、後片付けが難しくなっていますので、少しでもできることを一緒に行うようにしています。ほんの数分で出来なくなることが多いですが、ゆっくりと一緒にしています。</p> <p>箸を並べたり、調理、盛り付け、後片付け等、それぞれの方ができることを職員と一緒にしています。後片付けなどは、皆様が中心になっています。食事の準備は今ではそれが皆様にとって当たり前という雰囲気になっています。</p>	<p>利用者の嗜好を把握し、その日の希望によって献立を変更するなど柔軟に対応している。</p> <p>また、利用者の状態に応じて、可能な範囲で食事の準備や後片付けを手伝ってもらい、会話や笑い声のある雰囲気づくりに努めている。</p>	<p>医師から栄養状態について助言を得ながら、利用者の年齢や疾患に応じ、献立や調理方法を工夫している。</p> <p>また、前回評価で課題としていた栄養管理については、栄養士資格を持つ職員がいるため、負担にならないよう配慮しながら、効果的な取り組み方法を検討してほしい。</p>	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<p>水分摂取に関しては、毎日チェック表を活用し、水分不足に陥らないように心がけています。咀嚼と嚥下の状態を観察し、食事の形態をかえていますし、嗜好に合わせて食事の内容を変えています。また、毎食の食事摂取量を記録し、摂取量の少ない日が続くような時はかかりつけ医に相談し、指示を受けています。</p> <p>水分摂取に関しては、毎日チェック表を活用し、水分不足に陥らないように心がけています。咀嚼と嚥下の状態を観察し、食事の形態をかえていますし、嗜好に合わせて食事の内容を変えています。また、毎食の食事摂取量を記録し、摂取量の少ない日が続くような時はかかりつけ医に相談し、指示を受けています。</p>			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<p>毎食後に歯磨きやうがい、義歯の洗浄を促しています。ご自分でできる所はご自分で行って頂き、できない所のみ介助させて頂いています。義歯のある方は就寝前に義歯洗浄剤につけ置きをさせて頂いています。残存歯のある方は2～3ヶ月に一度、歯科医より口腔内の清掃を行って頂いています。</p> <p>毎食後に歯磨きやうがい、義歯の洗浄を促しています。ご自分でできる所はご自分で行って頂き、できない所のみ介助させて頂いています。義歯のある方は就寝前に義歯洗浄剤につけ置きをさせて頂いています。</p>	/	/
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>歩行の出来ない方でもトイレで排泄して頂けるよう誘導しています。また、尿失禁をしてしまいがちな方には、ころあいをみてトイレへ誘導させて頂いています。なるべくオムツ類で済ませてしまわないように努めています。</p> <p>チェック表にて排泄のパターンの把握に努めていますが、タイミングが合わないこともあります。しかし、極カトイレで排泄ができるよう個々に合わせてトイレへ誘導に努めています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取チェック表で飲水量の確認をし、水分不足にならないよう配慮しています。毎日乳製品を飲用して頂いています。また、食事にも繊維質のものを取り入れるようにしています。外出したり、近くを散歩するなど体を動かす機会も作っています。	/	/
		毎日乳製品を飲用して頂いています。また、食事にも繊維質のものを取り入れるようにしています。便秘気味のかたは現在はいませんが、これらと合わせて散歩や体操で体を動かす機会を今以上に増やしていこうと考えています。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわず、入りたい時間に浴室が空いていれば入浴して頂いています。毎日を希望される方には毎日入浴して頂いています。	/	/
		健康状態に合わせて入浴の形態をシャワーにしたりしています。しかし、入浴の時間帯等は一部の方の希望しかとれていませんので、他の皆様の希望も聞き取りながら入浴を楽しめるものになるよう努めます。実際の入浴は、個々のペースに合わせのぼせない程度に、ゆっくりのんびり利用して頂いています。	入りたい時に浴室が空いていれば入浴できる体制とし、希望があれば毎日でも入浴できるよう支援している。 また、介助の必要な方も、不安や負担感なく安全でつろいだ入浴ができるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は室温とご本人に好みに配慮し、掛け物の調節をさせて頂いています。また、日中は昼夜逆転がなければご本人の状況を見てソファや居室で休息して頂いています。お茶の時間だからと無理に起こしたりはしません。			
			夜間安眠できている状態であれば、日中でも自由に休息して頂いています。また、夜間眠れないときには話相手になったり飲み物をお出ししながら眠くなるまでそばに寄り添うようにしています。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カンファレンスの際に必ず薬の内容の確認をし、全員で周知できるようにしています。また、処方の変更等や症状の変化に関しては、医療機関や薬局と連絡を取り合い、指示やアドバイスを受けています。実際の内服薬の服用時には、確実に服薬できるよう必ず服用されるまで確認させて頂いています。			
			カンファレンスの際に必ず薬の内容の確認をし、全員で周知できるようにしています。また、処方の変更等や症状の変化に関しては、医療機関や薬局と連絡を取り合い、指示やアドバイスを受けています。実際の内服薬の服用時には、確実に服薬できるよう必ず服用されるまで確認させて頂いています。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫や簡単な食事の準備、お花見、お祭りなどの外出等、個々の好みに合わせて楽しむ機会を作るよう努めています。			
			調理に関することや外出、散歩、飲酒、趣味の物に対して実行できるようお手伝いしています。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする</p>	<p>一人ひとりのその日または前日の希望や以前からの希望に合わせて外出を実行しています。業務が忙しいから、時間がないからと断ったことはありません。遠くは鶴岡まで出かけたこともあります。今以上に普段行けないような所への外出を試みていきます。</p>	<p>年間行事予定に沿って外出しているほか、日々の生活の中で利用者の希望を確認し、近隣大型スーパーへの買い物や外食に出かけるなど、日常的に外出している。 また、天気の良い日は事業所周辺を散歩し、地域住民と挨拶を交わすなど気分転換を図っている。</p>		
		<p>日々の会話の中から外出の希望を聞き取るように努めています。希望があった時には他の予定がない限り、即日実行するようにしています。また、ご自分から訴えることの出来ない方には生活歴等から行きたい所を予測し、実行しています。</p>				
50		<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人の力に応じてお金を所持して頂いています。また、実際に外出時には支払いをして頂いています。所持が難しい方でも外出時にはレジ前でお金を渡し、支払いをして頂くようにしています。</p>			
		<p>ご本人の力に応じてお金を所持して頂いています。また、実際に外出時には支払いをして頂いています。所持が難しい方でも外出時にはレジ前でお金を渡し、支払いをして頂くようにしています。</p>				
51		<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話をかけたいという希望がある時は、ご本人と相手先との関係を確認させて頂いた上で通話をお手伝いしています。また、暑中見舞いや年賀状などを出す機会を作っています。</p>			
		<p>ご希望があれば電話や手紙のやり取りは自由にできるようにしています。また、残暑見舞いや年賀状を送ることを勧めていて近況をお知らせできるようにしています。</p>				

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>玄関には金魚を飼育したり、玄関先には沢山の花を植えています。また、洗面所などは殺風景にならないようにしています。また、臭いには、自然換気や空気清浄機、消臭スプレーで対応しています。大きな音や光のにはその都度不快を取り除くようにしています。温度に対しては、全居室と廊下、食堂等に温度計を設置し、その日の天候に合わせて自然な空気・エアコン・扇風機を使い分けています。</p>	<p>事業所全体が清潔で、換気や温度調整、採光に気を配り、エレベーターを設置して快適な空間づくりに努めている。 また、玄関ポーチや廊下にベンチを置き、畳のスペースもあり、自由に過ごせるよう配慮している。</p>		
	<p>玄関や洗面所などには花や置物を飾り殺風景にならないようにしています。また、不快な臭いには、換気や空気清浄機、消臭スプレーで対応しています。大きな音や光の加減にはその都度不快を取り除くようにしています。温度に対しては、全居室と廊下、食堂等に温度計を設置し、その日の天候に合わせて自然な空気・エアコン・扇風機を使い分けています。</p>					
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	<p>玄関や廊下に椅子を置いたり、和室にソファを置いていて皆様が自由に使用されています。一人でゆっくりすることが出来ます。</p>			
	<p>食堂やソファなど思い思いの場所で過ごして頂いています。皆様ご自分の居場所を決めていて、ゆっくり過ごされています。</p>					

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>ベットとクローゼット以外はすべて使い慣れたものをご持参頂いています。火気に関するものはお断りしていますが、それ以外は自由に使用してくださいとお願いしています。また、新調はしないよう説明させて頂いています。箸やご飯茶碗、湯のみ茶碗等の使い慣れた物をとお願いしています。</p> <p>ベットとクローゼット以外はすべて使い慣れたものをご持参頂いています。火気に関するものはお断りしていますが、それ以外は自由に使用してくださいとお願いしています。また、新調はしないよう説明させて頂いています。箸やご飯茶碗、湯のみ茶碗等の使い慣れた物をとお願いしています。</p>	<p>利用者一人ひとりが使っていた雑貨や好みの飾り物、仏壇などを持ち込み、その人らしい居心地の良い空間となっている。 また、遠方から面会に訪れた家族が、利用者の居室に泊まれるよう支援している。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>廊下、トイレ、浴室、食堂などは、手すりが設置してあります。また、居室の前には表札、トイレには「トイレ」を扉に大きく貼ってあり、なるべくご本人がご自分で行動できるように配慮しています。</p> <p>廊下、トイレ、浴室、食堂などは、手すりが設置してあります。また、居室の前には表札、トイレには「トイレ」を扉に大きく貼ってあり、なるべくご本人がご自分で行動できるように配慮しています。</p>		